



デジタルイノベーションに伴うレグテックの課題

金融庁 総合政策局
リスク分析総括課 情報・分析室長
中井 大輔


FinTech/RegTech/SupTech

	単独	同業種との共同	異業種との共同
金融庁	SupTech : 監督のためのIT活用		● 機能別横断 法制の検討を 踏まえて今後 対応すべき領域
	① 収集 : API ② 保管 : クラウド ③ 分析 : RPA、AI	● 徴求情報の共有 ⇒RegTech エコシステム	
金融機関	RegTech : 規制対応のためのIT活用		
	① 収集・検知 : AI ② 調整・確認 : RPA ③ 分析・当局報告 : API	● 複数の金融機関による共通 プラットフォームの構築 ⇒RegTech エコシステム	
事業会社 (プラットフォーム等)	FinTech : 金融サービスのためのIT活用		
	● 送金・決済 : ブロックチェーン ● 融資 : AI、ブロックチェーン ● 助言・回答 : AI ● 資産運用 : AI ● 資産管理 : API		

金融デジタル化戦略(1)

■ **生活面**ではあらゆるモノ・コトがデジタル情報化し、**ビジネス面**では金融だけでなく生産・流通・販売に至るまで、さらに**行政**においても**隅々までデジタルが適用されるデジタル化**が加速

- ITを活かし、決済等の金融サービスを切り出し(アンバンドリング)、eコマース等の業務と部分的に組み合わせる(リバンドリング)など、**新しいプレイヤーが金融分野に進出**
- 情報の蓄積・分析が量・質ともに飛躍的に増加・向上し、**情報の利活用が進展 → ビジネスが革新的に変わる可能性**

 **新しいプレイヤーによるイノベーションの進展が進みやすい環境を整備していく必要**
同時に、**既存の金融機関も、新しいプレイヤーとの協働・連携や競争**を通じて、**ビジネスモデル変革による利用者利便の向上**が求められている

【金融デジタル化戦略の11の施策】

情報をより使いやすく

1. 情報の蓄積と利活用

利用者や金融機関等の多様なプレイヤーが情報を利活用しやすくなるよう、①**情報連携のための環境整備**(決済高度化・オープンAPIの推進)、②**制度面での検討**(機能別・横断的法制において検討)を行うとともに、③**金融機関とITの戦略的活用・ITガバナンスについて対話**を実施

2. 顧客のプライバシー、匿名性や顧客情報の信頼性その他の顧客保護

本人確認のデジタル化の推進のほか、情報の利活用の際の匿名性の確保、顧客情報の信頼性確保を含む個人情報の保護や、ブロックチェーン等、新しい技術を活用した顧客保護に向けた取組みを推進

3. デジタル化に対応する情報・金融リテラシー

どのような金融サービスが利用できるか、また、自らの個人情報等が金融を含む商品・サービスの勧誘にどのように利活用されるかといった**情報・金融リテラシーの向上**を推進

金融デジタル化戦略(2)

官民のインフラのデジタル化

4. 金融・非金融の情報の伝達を可能とする金融インフラのデジタル化
利用者の利便性向上や企業の生産性向上、キャッシュレス化に向けたインフラ整備として①**企業の財務・決済プロセスの高度化**や、②**証券分野におけるブロックチェーン技術の活用**等の推進

5. 金融行政のデジタル化
①金融機関のシステム対応コストを低減しつつ、当局によるリアルタイムな実態把握を可能にする**官民双方にメリットのあるRegTechエコシステムを将来的に構築**するための検討、②EDINETのオープンAPI化による開示情報の提供等を実施

新しいビジネスへの挑戦を支援

6. 様々なサンドボックス等によるイノベーションに向けたチャレンジの促進
①「FinTech Innovation Hub」を立ち上げ「100社ヒアリング」を実施することにより情報を収集するとともに、
②**FinTech実証実験ハブ**や③**FinTechサポートデスク**等の様々なサンドボックスの活用を促進

7. オープン・アーキテクチャによるイノベーションの推進
オープンAPIの推進等により、金融機関とフィンテック企業の連携を推進

デジタル化に向けた基盤の整備

8. 国際的なネットワーク
①海外当局との**フィンテック推進協力枠組みの構築**、②**フィンテック・サミットの開催**に取り組むとともに、
③**仮想通貨(暗号資産)の国際的なルール形成に貢献**

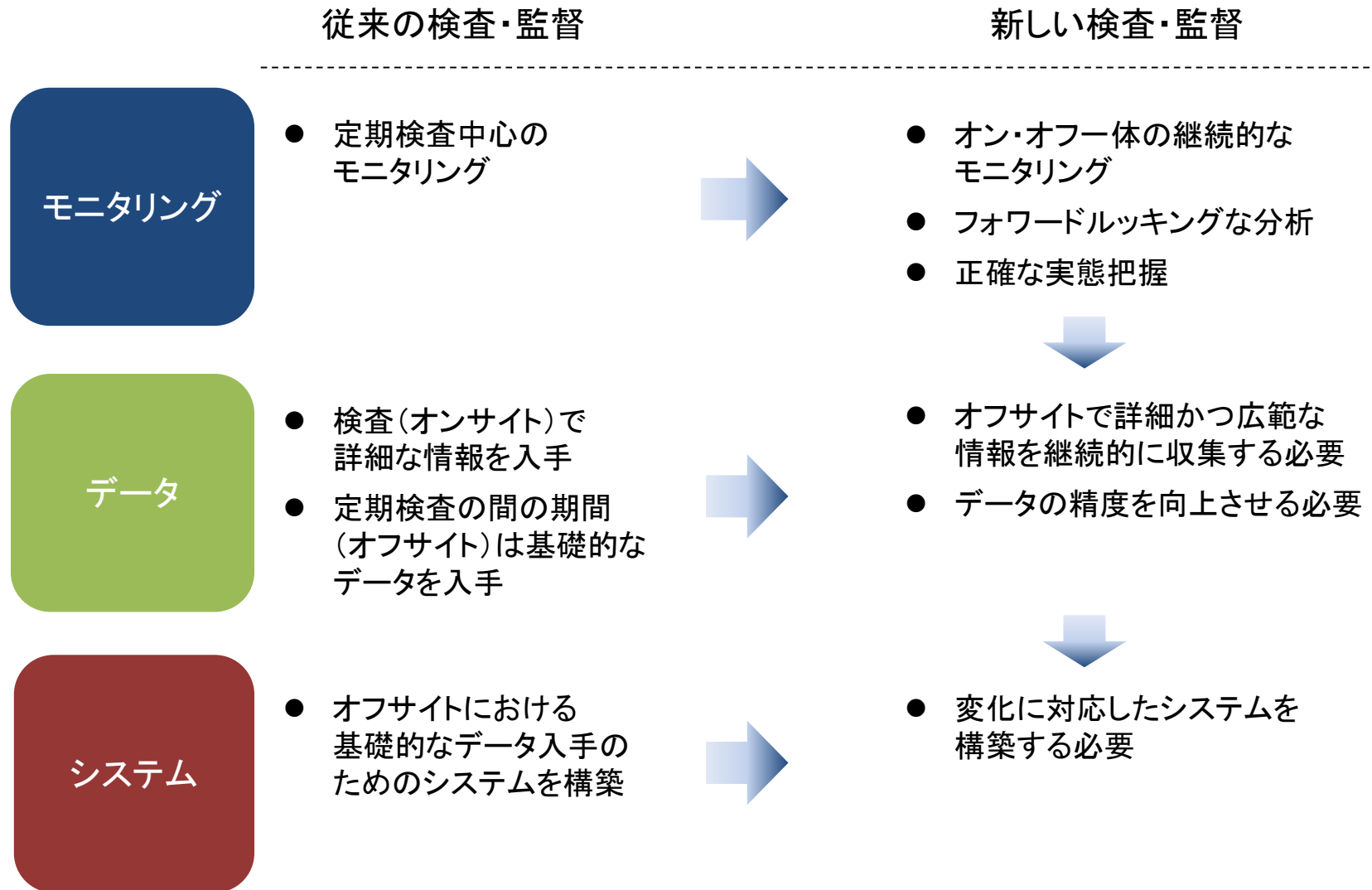
9. デジタル化の基盤となるブロックチェーン、AI、ビッグデータ技術等の推進
①ブロックチェーン技術の活用可能性や課題等にかかる**国際的な共同研究の実施**、
②「FinTech Innovation Hub」における**要素技術等に係るヒアリングの実施**

10. サイバーセキュリティその他金融システム上の課題等への対応
新たな実効性あるサイバーリスクへの対応策を金融機関に促し、サイバーセキュリティの国際連携を推進するとともに、デジタル化に伴って生じる金融システムの新たなリスクに対応

11. これらの課題を実現するための機能別・横断的法制
フィンテック等の技術革新の動向や金融サービスのトレンドの方向性も視野に入れつつ、**金融規制体系をより機能別・横断的なものにしていくことについて検討**

モニタリングの高度化を踏まえたデータ・システムの対応の方向性

◎ 検査・監督の高度化は、情報の収集・分析・活用と不可分

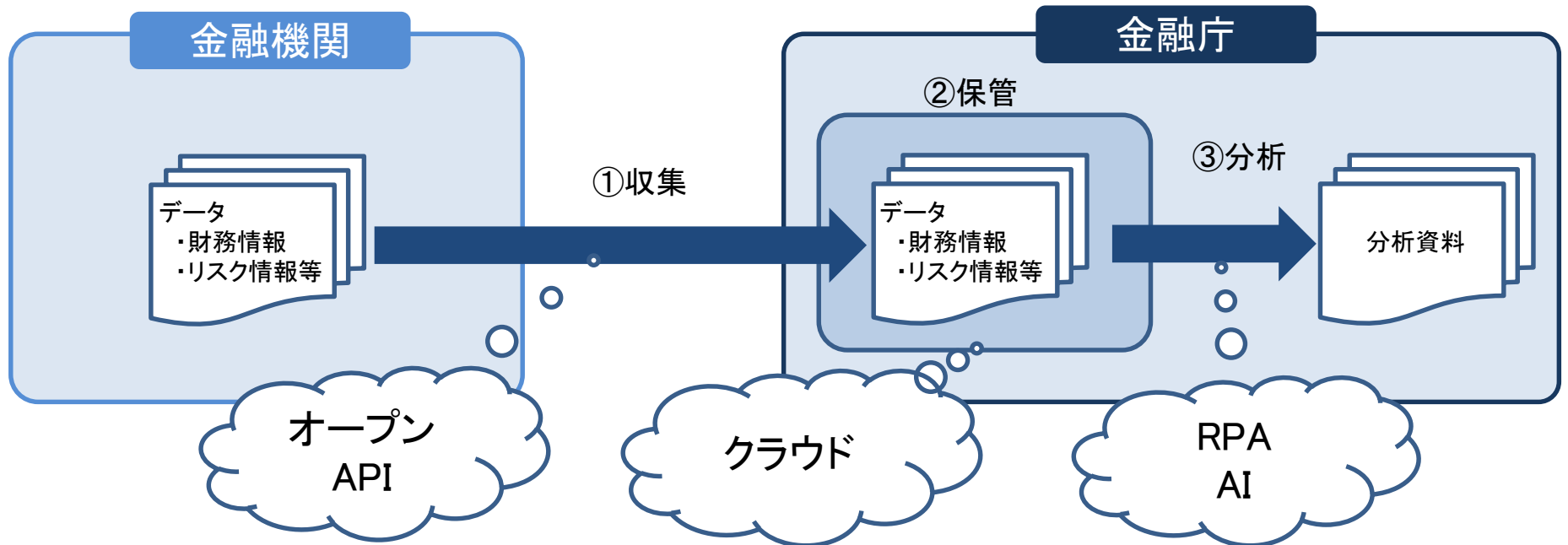


データ・システムの概要

○ データ

	プルードンス	コンダクト
マクロ	<ul style="list-style-type: none">● 国内外の金融市場・経済動向● 各国金融政策動向	<ul style="list-style-type: none">● 国内外の規制動向 等
ミクロ	<ul style="list-style-type: none">● 財務情報● リスク情報 等	<ul style="list-style-type: none">● 不祥事件発生状況● 訴訟関係情報・苦情情報・公益通報● 取引先倒産情報 等

○ システム



RegTech エコシステムの方向性

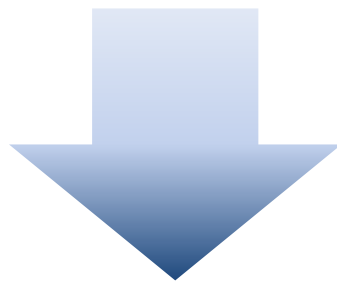
金融庁

- 詳細かつ広範なデータに基づく
フォワードルッキングな分析
- より早くデータを入手することで
リアルタイムな実態把握



金融機関

- 増大する当局への報告
負担に対する効率化



官民双方にメリットのある仕組み
RegTech エコシステム

- コスト
- 人材
- 技術
- データ定義
- レガシーシステム